

2020年12月18日
TRANCOM株式会社

グリーン物流パートナーシップ会議「国土交通大臣表彰」を共同受賞

～スワップボディコンテナ^{※1}を活用した共同輸送事業で
車両台数削減、ドライバー作業負荷低減が高く評価～

TRANCOM株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役 社長執行役員 恒川 穰、以下当社）は、株式会社ホームロジスティクス（以下ホームロジ）、ユニ・チャームプロダクツ株式会社（以下ユニ・チャーム）と共に、スワップボディコンテナ^{※1}を活用した共同輸送事業において、往復輸送による車両台数削減、荷役分離によるドライバー作業負荷低減の取り組みにより、2020年12月16日（水）に開催された「令和2年度 グリーン物流パートナーシップ会議優良事業者表彰^{※2}」で「国土交通大臣表彰」を共同受賞しました。

※1 トラックに積載する荷台部分を脱着できる車両のこと

※2 国土交通省・経済産業省等が物流分野における環境負荷低減、物流の生産性向上など、持続可能な物流体系の構築に関し、特に顕著な功績のあった事業者に対して表彰するもの

■受賞内容と受賞理由

異なる業種であるホームロジ、ユニ・チャームの物流パートナーである当社が、2社の共同輸送による物流効率化を起案し取り組みを推進しました。物量波動の大きな2社の貨物の組み合わせによる当日往復輸送で波動を平準化、満載にならない曜日は当社の求貨求車サービスが保持する貨物を混載し、輸送効率化を図ることで運行台数50%削減を実現しました。また、2社の物流センターで荷役業務請負をしていることから、スワップボディコンテナ活用による荷役分離を可能としドライバー荷役作業を半減しました。結果、CO₂排出量の削減（年間換算 880.4 トン）を実現し、環境負荷低減に貢献したことが高く評価されました。



<グリーン物流パートナーシップ会議 表彰式の様子>

左から

ユニ・チャームプロダクツ株式会社 執行役員 鶴飼哲男氏

赤羽一嘉国土交通大臣

株式会社ホームロジスティクス 代表取締役社長 柳川弘之氏

TRANCOM株式会社 取締役専務執行役員 神野裕弘

■今後の展開

物流業界は、ドライバー不足や物流費の上昇、CO₂の削減など、様々な課題を抱えています。今後も3社は連携を強化するとともに、パートナーとなり得る企業と幅広く取り組むことで、限りある輸送力を最大限活用した輸送実現に取り組み、社会の課題解決に貢献していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

TRANCOM株式会社 経営企画グループ TEL：052-939-2023